

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

共催：なかのZERO指定管理者

助成：文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人朝日新聞文化財団

後援：一般社団法人全日本吹奏楽連盟

東京都吹奏楽連盟

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会

公益財団法人日本音楽教育文化振興会

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

一般社団法人日本吹奏楽普及協会

日本コロムビア株式会社

株式会社テレビマンユニオン



TOKYO KOSEI WIND ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERT
2023-2024

#163

2024.1.26 fri
at NAKANO ZERO



<https://www.tkwo.jp/>

Takeshi Ooi
Conductor

PROGRAM | プログラム

ウインド・プレイズ [約5分] (大井剛史・TKWO共同委嘱作品／世界初演)／福丸光詩

The Wind Praise for wind orchestra
[Co-commissioned work by Takeshi Ooi & Tokyo Kosei Wind Orchestra, World premiere] / Koji Fukumaru

アスパイア(日本初演)／J.ヒグドン [約8分]

Aspire (Japan premiere) / Jennifer Higdon

金管楽器と打楽器のための交響曲／A.リード [約17分]

Symphony for Brass and Percussion / Alfred Reed

第1楽章	マエストロソ～アレグロ・マ・ノン・トロppo	I. Maestoso～Allegro ma non troppo
第2楽章	ラルゴ	II. Largo
第3楽章	コン・モート	III. Con moto

休憩 Intermission [20分]

交響曲第5番「さくら」／A.リード [約21分]

Fifth Symphony - Sakura / Alfred Reed

第1楽章	モデラートリー・アンド・サステインド～アレグロ・アッサイ	I. Moderately and sustained～Allegro assai
第2楽章	自由に(クワジ・レシタティブ)～レント	II. Freely (quasi recitative)～Lento
第3楽章	アレグロ・モルト・コン・フォーコ	III. Allegro molto con fuoco

科戸の鶺鴒一吹奏樂の為の祝典序曲 [約12分]

《Edition TKWO》／中橋愛生

"Blessed Promising Future" Festal Overture for Symphonic Band
《edition TKWO》 / Yoshio Nakahashi

注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があります。
- ・および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご注意ください。

PROFILE | 指揮者プロフィール



大井 剛史

Takeshi Ooi
Conductor

2014年より東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。2024年4月より同楽団の常任指揮者に就任予定。

17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。1996年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。

2007～2009年チェコ・フィルハーモニー管弦楽団で研修。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。在学中より東京二期会、新国立劇場などのオペラ公演で副指揮者をつとめ、2002年「ベレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮してデビュー。その後はオペラのほかバレエ、ミュージカル、日本舞踊との共演など多くの舞台公演を指揮。

仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者(2000～2001)。ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009～2016)、山形交響楽団指揮者(2009～2013)、同正指揮者(2013～2017)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。

レパートリーは極めて広く、オーソドックスな管弦楽／吹奏樂の作品を中心として、現代音楽の初演、ゲーム音楽、映画音楽、ポップスなどありとあらゆる音楽を手がける。トーク付きのコンサート、また子供のためのコンサートなどを通じて、より多くの方々に音楽に親しんでいただくことに情熱を注いでいる。

東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏樂)。

尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。



PROGRAM NOTES | 曲目解説—富樫鉄火(音楽ライター)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

J.ヒグドン作曲 アスパイア【日本初演】

ジェニファー・エレイン・ヒグドン(1962～)は、アメリカの作曲家。グラミー賞:最優秀現代クラシック作曲賞を3回受賞しているほか、2010年には《ヴァイオリン協奏曲》でピューリッツァー賞:音楽賞も受賞している(初演のソロは、ヒグドンの教え子で、世界的人気のヒラリー・ハーンだった)。いまや、アメリカを代表する作曲家のひとりである。

彼女の作曲家としての経歴はなかなかユニークだ。音楽といえば幼少期からロックやポップス専門だった。だが高校に入ってからマーチング・バンドでパーカッションを、コンサート・バンドでフルートを担当したことで、次第にほかの分野の音楽にも興味を抱く。その後、ボウリング・グリーン州立大学で作曲を学び、カーティス音楽院やペンシルヴァニア大学で博士号を取得。作曲家、大学教授として活躍するようになる。

ほぼすべてのジャンルに作曲しているが、歌劇《コールド・マウンテン》(2015)が国際オペラ賞:最優秀世界初演賞を受賞しているほか、早世した弟を追悼する管弦楽曲《ブルー・カテドラル》(1999)は、世界中で600回以上演奏される人気曲となっている(他者編曲による吹奏楽版あり)。

前述のように原点が「吹奏楽」だけあり、コンサート・バンドや管打楽器のための曲も多い。本曲もそのひとつで、2022年7月にチェコ・プラハで開催された第19回世界吹奏楽大会(WASBE)で米海兵隊バンドにより委嘱初演された最新曲である。

曲名《Aspire》の意味は「熱望する/目指す/向かう」。作者のコメントによれば「吹奏楽で音楽の旅をはじめた私が、最初に経験したのがワシントンD.C.の国会議事堂で聴いた、米海兵隊バンドのすばらしい演奏でした。彼らは、最高の音楽を目指す私に多大なインスピレーションを与えてくれました」とのこと。そんなかつての初志を回想するように、ほぼすべての木管楽器がソロを奏でながら、ゆったりと曲がすすむ。その背後には曲名でもある「熱望」が見え隠れする。曲想としては、前述《ブルー・カテドラル》に近いものがある。

大編成だが、さらにフルートⅠ～Ⅲ、B♭クラリネットⅠ～Ⅳ、さらにソプラノ・サクソフォンやイングリッシュ・ホルンが設定されているなど、全体的に木管楽器の響きを充実させている。

なお「Aspire」というと、よく「aspire to a world free of war」(戦争のない世界を目指す)のように、「理想」を追う言葉として使用されることも多い。本曲にも、どこか「理想」の世界を「目指す」ようなイメージが感じられる。

A.リード作曲 金管楽器と打楽器のための交響曲

アルフレッド・リード(1921～2005)は、生涯に5曲の交響曲を書いた。本曲は、番号は付いていないが、事実上の「第1番」。1952年、CBDNA(全米大学バンド指導者協会)の総会で、オーバリン大学バンドによって初演された。

この年、リードは31歳。すでに吹奏楽曲は書いていたが、まだ放送・舞台の商業音楽を糧としていた時期である。ところがこの年、結婚10年余にして初めて生まれた男児を、病により生後3カ月で失ってしまう。おそらく、そんなリードを励ます意味もあったのだろう、1948年に《ロシアのクリスマス音楽》改訂版を初演指揮したドナルド・ムーアの委嘱で、本曲に取り組みすることになった。

編成はホルン4、トランペット4、コルネット2、トロンボーン4、ユーフォニアム2、チューバ2、ティンパニ十打楽器群。全3楽章構成。

I. Maestoso～Allegro ma non troppo

《音楽祭のプレリュード》(1957)の原型を思わせる壮大なファンファーレで開始する。その後、勇壮なマーチを経て、中間部では静謐な曲想に落ち着く。次第に遠くから再びマーチのリズムが近づいてきて、クライマックスを形成する。この楽章だけでも、すでに後年のリード特有の響きがほぼ完成していることがわかる。

II. Largo

戦後7年目の時期に、このような深淵な金管コラールが書かれていたことに驚く。特に公言されていないが、やはり、わが子を失った悲しみが反映されているように聴こえてしまう名曲である。最終部ではチャイムや鍵盤打楽器群が鎮魂の調べを奏でて静かに終わる。

III. Con moto

「動きをもって」とあり、ラテン系を思わせる、活気あふれる楽章。のちにリードは《第2組曲》(1979)、《エル・カミーノ・レアル》(1985)などラテン・テイストの曲を多く書くが、その先駆けともいえる。トムトムに乗ってにぎやかにはじまり、一時鎮まって、クレシェンドしながら次第に壮大な響きに展開していく。金管もさることながら、打楽器群が大活躍する楽章である。

A.リード作曲 交響曲第5番《さくら》

リード最後の交響曲。洗足学園音楽大学の創立70周年記念に委嘱され、1995年に浜松で開催された第7回世界吹奏楽大会(WASBE)で、リード自身が指揮する、同大シンフォニックウインドオーケストラによって初演された。初演時に副題はなかったが、のちに《Sakura》を付けて出版された。全3楽章構成。

I. Moderately and sustained～Allegro assai

教会の鐘を思わせるチャイムの響きとともに、「穏やかさを保って」厳かにはじまる。次第にスピードを増し、序部で聴かれた三連符などいくつかのモチーフを発展させ、華やかに展開する。

II. Freely(quasi recitative)～Lento

日本古謡《さくらさくら》が、ゆったりと奏でられ、「自由に(歌うように)」変奏を重ねてゆく。途中でうねるような大きな響きに至るが、全体は静かで落ち着いた楽章である。この旋律は江戸時代からあったもので、ブッチーニが歌劇《蝶々夫人》のなかで使用したことで、海外でも知られるようになった。

Ⅲ. Allegro molto con fuoco

冒頭から細かいパッセージがさく裂する華やかな楽章。リードには難曲が多いが、特に超絶技巧を要求される、最高難度の曲といっても過言ではない。中間部で穏やかに落ち着くが、あっという間に「非常に早く、生き生きと」した曲想にもどり、潔く幕を閉じる。初演時、リードは74歳。年齢を感じさせない、力強い響きに圧倒される。

なお、交響曲は1995年初演の本曲が最後となったが、リード自身は、このあとに活発な作曲活動をつづけている。引きつづき《第5組曲》(1995)、《第6組曲》(1998)、《十二夜》(2003)、《アーデンの森のロザリンド》(2004)などの名曲を生み、2005年に84歳で没した。

大井剛史 & TKWOは、すでに交響曲第2、3、4番を定期で演奏しているため、本日で“リード交響曲全集”が完成したことになる。

中橋愛生作曲

科戸の鶺鴒一吹奏楽の為の祝典序曲《Edition TKWO》

2004年、防衛庁設立50周年記念に委嘱され、野中図洋和指揮：陸上自衛隊中央音楽隊によって初演された。その後、2006年の「第9回 響宴」で、小澤俊朗指揮：神奈川大学吹奏楽部が再演し、ライブCDになったことでさらに広まり、コンクールでもさかんに演奏される人気曲となった。

曲名の「科戸」(しなと／しなど)は、『日本書紀』などにも登場することばで、罪や汚れを吹き払う神風を意味する。「鶺鴒」(じゃくそう)は、カササギの巣。カササギはカラスの仲間だが知能が高く、中国では神の使いのような存在である。「百人一首」の有名な歌《かささぎの渡せる橋におく霜の しろきを見れば夜ぞふけにける》(大伴家持)で知られるように、七夕の夜、カササギの大群が天の川に自らの体で橋をかけ、織姫と彦星を会わせてやることになっている。また作曲者によれば、カササギには年ごとに風向きを予見して巣を作る本能があり、曲名は「未来予知能力」の代名詞でもあるそうだ。よって本曲は、未来を切り開く祝典曲でもある。

初演時は、巨大な編成も話題となった。たとえばトランペットは8人以上、ホルンは6人以上が必要で、B♭クラリネットは8声に分かれる部分もある。演奏には80人以上が必要だった。のちに作曲者自身の手でコンクール向きに改訂された短縮版も出版された。

本日演奏される《Edition TKWO》は、2014年4月のTKWO第119回定期演奏会のために改訂されたヴァージョン。1パート1人を原則とする編成(最少55人)となっている。作曲者によれば「これにより、シンフォニック・バンド特有の音響は失われたが、ウインド・アンサンブル様式の繊細な表現が可能となっている」が、「各奏者に求められる技術・音楽性は各段に増しており、かつ多少の空間的な音像の移動および対位も付加されている」とのこと。オプションでピアノとハープも追加されている。改訂にあたっては、本日の指揮者・大井剛史の協力もあった。

曲は壮大な序奏で幕をあげ、室内楽のような精緻で複雑な響きで展開して行く。ゆったりした中間部を経て、それこそカササギの鳴き声を思わせるフレーズを重ね、緊迫の度合いを増す。木管群の超絶技巧がつづき、やがて壮麗なクライマックスを形成する。まさに“平成の日本吹奏楽界”を代表する名曲である。

作曲者・中橋愛生(1978～)は、東京音楽大学大学院出身。大学4年次に作曲した管弦楽曲《交響残象—オーケストラのために》で日本音楽コンクール作曲部門第3位を獲得した。プロ、アマチュア問わず日本中で多くの作品が演奏されており、TKWOには、委嘱作品《陽炎(かぎりひ)の樹 吹奏楽のための》なども提供している。NHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティもつとめるなど、解説・研究の分野でも大活躍している。4月より、TKWO楽芸員に就任する。

* 文中の楽器編成はオリジナル・スコアを参照したものであり、本日の演奏では、一部が変更になることもあります。
* アルフレッド・リードに関する記述の一部は、『アルフレッド・リードの世界 改定版』(アルフレッド・リード著、村上泰裕著訳/スタイルノート刊)を参考にさせていただきました。

大井剛史・TKWO共同委嘱作品／世界初演

ウインド・プレイズ

福丸 光詩

《ウインド・プレイズ》は、東京佼成ウインドオーケストラ(以下、TKWO)と、同楽団正指揮者である大井剛史氏の共同委嘱により、TKWO第163回定期演奏会のオープニングピースとして作曲されました。タイトルである《ウインド・プレイズ(The Wind Praise)》には2つの意味をもたせています。

ひとつ目は「吹奏楽(Wind)、賞賛(Praise)」。すなわち、大井氏のTKWO正指揮者就任から10年と、同時に今年4月より新たに常任指揮者への就任を祝うという意味を込めています。冒頭のトランペットが奏でる祝祭的なテーマは、大井剛史氏の名前のアルファベット10文字(Takeshi Ooi)を音列化した10音からはじまり、このテーマに含まれる特徴的な音型が対位法的模倣を展開し、音楽全体の骨格を形成しています。

ふたつ目は「聖霊(Wind)、賛美(Praise)」。聖霊とは、三位一体というキリスト教の神概念における第3位格の神であり、ギリシア語では「風」と「聖霊」をプネウマ(πνεύμα)という同じ言葉で表現します。これにまつわる賛美歌として、今作の中にはグレゴリオ聖歌《Veni Sancte Spiritus(来てください、聖霊よ)》の旋律が殆ど忠実な形を保って引用されています。聖歌や讃美歌が、ある性格をもった楽想の中に埋め込まれているという点において、J.S.バッハの時代に隆盛を極めたコーラル編曲(Choralbearbeitung)の手法で書かれた作品であると位置付けることもできるでしょう。

これら2つの意味を象徴する各要素が、交互に、あるいは同時に現れることで、約5分という演奏時間が一層濃密なものとなっています。外観は簡素に聴こえますが、一度に全てを聴き取ることは(作曲者自身も)できないかもしれません。これはある意味、私が吹奏楽に抱いている展望と期待のささやかな主張であるともいえます。

私が初めてTKWOの生演奏を聴いたのは2014年4月の第119回定期演奏会、大井氏の正指揮者就任披露演奏会でした。当時高校2年生だった私は、大井氏とTKWOから発せられる誠実かつユーモアと喜びに満ちた音楽に圧倒され、作曲家になりたいという意志を強固にした忘れられない日となりました。あの日演奏されたプログラムの作曲家たちは今も私の憧れです。それから10年が経ち、自分の作品が大井氏とTKWOによって演奏される日が来るとは、夢にもみなかったことで万感胸に迫るものがあります。

福丸光詩 Koji Fukumaru, Composer

1997年栃木県生まれ。東京音楽大学及び同大学院にて作曲を中橋愛生、原田敬子、細川俊夫の各氏に師事。現在、修士課程にて神学と音楽芸術の関わりを研究しつつ、自身のキリスト教信仰に基づく作曲活動を展開している。主な作品に、《土の器 Cor. II 4:7》(第90回日本音楽コンクール作曲部門第1位及び三善賞・明治安田賞受賞)、《フィグレス II》(第2回松村賞受賞)、室内オーケストラ作品《一滴の静寂のために》など。2019年度青山音楽財団奨学生、クマ財団クリエイター奨学金6期生、2022～23年度ロームミュージックファンデーション奨学生。



〈敬称略〉

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、正指揮者に大井剛史、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親、ポップス・ディレクターに藤野浩一を擁している。

2024年4月より大井剛史が常任指揮者に就任予定。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、

ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、

多くの人を楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル
 正指揮者 …… 大井剛史
 特別客演指揮者 …… トーマス・ザンデルリンク
 首席客演指揮者 …… 飯森範親
 ポップス・ディレクター …… 藤野浩一

指揮 …… 大井剛史
 演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太(Flute)	Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、 本間千也*、関健太、川村大、 清川大介、箕輪瑠璃子
Flutes …… 前田綾子、東佳音(Piccolo)、 白石法久	Horns …… 堀風翔*、小助川大河、赤坂和之、 中上玲、藤井春香、矢吹日香理
Oboes …… 宮村和宏*、桜田昌子	Tenor Trombones …… 今村岳志*、石村源海、 鶴田陸、吉田英恵
English Horn …… 梅枝理恵	Bass Trombones …… 佐藤敬一朗、佐々木匡史
Bassoons …… 福井弘康、村山奈菜	Euphoniums …… 岩黒綾乃、大山智
Contra Bassoon …… 加藤秀一	Tubas …… 林裕人、松本匡偉
Clarinets in E♭ …… 松生知子	Contrabass …… 前田芳彰*
Clarinets in B♭ …… 大浦綾子、林裕子*、粟生田直樹、 草野裕輝、瀧本千晶、徳武敦、 野田祐太郎、福井萌、船橋菜里	Timpani …… 坂本雄希
Alto Clarinet …… 塚本啓理	Percussion …… 渡辺壮、和田光世*、岩下美香、 尾形賢一、斎藤祥子、齋藤梨々子、 山本貢大
Bass Clarinet …… 有馬理絵	Harp …… 操美穂子
Contra Bass Clarinet …… 原浩介(Bass Clarinet/Contra Alto Clarinet)	Piano …… 神原颯大
Alto Saxophones …… 林田祐和*(Soprano Saxophone)、 齊藤健太、都築惇	
Tenor Saxophone …… 中嶋紗也	
Baritone Saxophone …… 栃尾克樹	

※演奏委員

コンサートマスター

林田祐和

副コンサートマスター

宮村和宏

インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

企画委員

原浩介

役員

理事長 …… 勝川本久

常務理事 …… 八反田弘

専務理事 …… 堀風翔

監事 …… 清水宏一

事務局

事務局長 …… 勝川本久

事務局次長 …… 堀風翔

事務局長補佐 …… 八反田弘

広報

尾崎真也

荻沼美帆(チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ

荻沼美帆

尾崎真也

佐原由起

総務

佐原由起

岩崎友香(パーソナルマネージャー)

経理

水本孝枝

賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX:03-5341-1255 MAIL:patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2024年1月1日現在)

法人会員

特別会員 (株)佼成出版社 (株)ビルドエスアンドアール 匿名1名

維持会員 エューツーリスト((株)アコード) 名古屋 宗次ホール
フロアマイスター株式会社

賛助会員	株式会社アシストジャパン 遠藤製作所 遠藤悦治 株式会社CAFUALレコード 株式会社サンテックピオズ 株式会社全音楽譜出版社 立花産業(株) 株式会社日乃本錠前 株式会社プリマ楽器 柳澤管楽器株式会社	アトリエ・エム株式会社 海鮮食堂余市の仲間達 管楽器専門店ダク 鈴木住地(有) 有限会社泰敬建設 代表取締役 阿部泰敬 中央鉄鋼 有限会社 フォスターミュージック株式会社 みずほ証券株式会社
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

個人会員

特別会員	アイちゃん	天野 正道	加賀美 猛	菅野 泰正
	田中 淳子	林 正作	久末とまこ	古沢 秀明
	ミーゴ	山内 幸人		

匿名6名

維持会員：187名 / 賛助会員：96名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。
TKWOをもっと身近で特別な存在に♪
サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2024年1月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンバーカッションセンター
ブレーン(株) 広島本社
ブレーン(株) 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザクラリネットショップ
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
(株)ヤマハミュージックリテイリング 横浜店
(株)池袋音楽学院
(株)CAFUALレコード
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルーツ専門店 テオバルト

アトリエ・エム株式会社
イシバシ楽器 横浜店
フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウインズスタイル
フォスターミュージック株式会社
金管楽器修理調整 浅香工房
葡萄房 by THE CAMEL
やしろ食堂
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大拵
海鮮食堂余市
おぐセンター
ワイン酒場トンマーズ
小林メディカルファミリー薬局

▼個人のお客様

渡邊 直子
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか?
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。



課題曲コンサート2024

日時 2024年2月29日(木)
 開演 19:00(開場:18:15)
 場所 府中の森芸術劇場 ドリーむホール
 指揮 大井剛史(正指揮者)

大井剛史 常任指揮者就任記念演奏会 マスランカ・チクルス Vol.1

日時 2024年4月5日(金)
 開演 19:00(開場:18:15)
 場所 東京オペラシティ コンサートホール
 指揮 大井剛史(常任指揮者)

"New Sounds in BRASS" コンサート2024

日時 2024年5月7日(火)
 開演 19:00(開場:18:15)
 場所 東京国際フォーラム ホールC
 指揮 天野正道
 ゲスト エリック・ミヤシロ(Trumpet)
 オリタノポッタ(Saxophone) ほか



NONAKA

いい楽器をあなたのもとへ
www.nonaka.com



TKWO Season Concert Schedule 2024-25

会場：なかのZERO 大ホール

第164回 定期演奏会

自然、神、地球

2024年4月26日[金]
開演 19:00(開場 18:15)

指揮 横山 奏

- “地球”-美しき惑星-(2011年委嘱作品)/真島俊夫
- 水の交響曲/S.ランセン
- 交響詩「炎の詩」/I.ゴトコフスキー
- 交響曲第1番「大地、水、太陽、風」/P.スパーク



[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円 会員先行 2024年1月22日(月)/一般発売 2024年1月29日(月)

第165回 定期演奏会

オール《ジョン・マッキー》
プログラム

2024年6月8日[土]
開演 18:30(開場 17:45)

指揮 飯森 範親
(首席客演指揮者)

- オーロラは目覚める/J.マッキー
- ソプラノ・サクソとウインド・アンサンブルのための協奏曲/J.マッキー
- 翡翠/J.マッキー
- レッドライン・タンゴ/J.マッキー
- フローズン・カテドラル/J.マッキー



独奏 林田 祐和
(TKWOコンサートマスター)

[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円 発売日:調整中

第166回 定期演奏会

オストワルド賞の系譜

2024年9月28日[土]
開演 18:30(開場 17:45)

指揮 大井 剛史
(常任指揮者)

- 朝鮮民謡の主題による変奏曲/J.B.チャンス
- 交響曲第1番/J.バーズ
- 交響組曲/C.ウィリアムズ
- シンフォニア/周天



[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円 発売日:調整中

第167回 定期演奏会

マスランカ・チクルス Vol.2

2025年1月11日[土]
開演 18:30(開場 17:45)

指揮 大井 剛史
(常任指揮者)

- ブレスク風ロンド(1972年委嘱作品)/伊福部 昭
- 交響曲第9番*/D.マスランカ

[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円 発売日:調整中



※全席指定・税込 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※出演者、曲目、時間等は変更にある場合がございます。 ※会員先行は定期会員・サポーターズクラブ会員対象。

定期会員券

2024-25シーズン定期演奏会全4回を同じお席でお得にお聴きいただけます!

料金 全席指定 ¥16,000 U25 ¥8,000

販売期間 2024年4/25[木]まで

※全席指定・税込 ※TKWOチケットサービスのみでのお取り扱い。

好評
発売中!




 佼成出版社
 音楽出版室
 1977-2010
 KOSEI PUBLISHING COMPANY

KOSEIレーベルを 音楽配信サービスで

iTunes、Apple Music、Spotify、Amazon Music、LINE MUSICを
 はじめとする各音楽配信サービスにて1000曲を超える楽曲を好評配信中！
 1979年の初リリース以降、ポジティブに、かつ体系的に送り出されたコンテンツは、
 質・量ともに他の追従を許さない。世界に類例を見ない吹奏楽曲の数々を配信で！

主な配信サービス



iTunes



Spotify



Amazon Music



LINE MUSIC

LINE MUSIC

株式会社 佼成出版社
 〒166-8535 東京都杉並区和田2丁目7-1 普門メディアセンター
 03-5385-2311(代表)

電子書籍ECサイト





YAMAHA
 Make Waves



835が導く新時代へ

心癒す甘美でつつみこむような暖かさ、
 魂を揺さぶる“圧倒的”にパワフルなサウンド。
 新時代には、もはや境界や限界はない。
 超越したパフォーマンスが響きわたる深淵の領域。
 表現の新たな時代が、いま訪れる。

Xeno

Bass Trombones

NEW YBL-835/835D

NEW YBL-835G/835GD

【調子】B $\frac{1}{2}$ /F/G $\frac{1}{2}$ /D 【ベル】イエローブラス/1枚取/241mm(835D:テタッチャブルベル)
 【ボア】LL:14.3mm 【スライド外管/内管】イエローブラス/洋白
 【主管抜差】ゴールドブラス【仕上げ】クリアラッカー【付属マウスピース】BL-61D4L

【調子】B $\frac{1}{2}$ /F/G $\frac{1}{2}$ /D 【ベル】ゴールドブラス/1枚取/241mm(835GD:テタッチャブルベル)
 【ボア】LL:14.3mm 【スライド外管/内管】イエローブラス/洋白
 【主管抜差】ゴールドブラス【仕上げ】クリアラッカー【付属マウスピース】BL-61D4L

お問い合わせ

株式会社ヤマハミュージックジャパン
 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
 お客様コミュニケーションセンター管弦打ご相談窓口
 ナビダイヤル:0570-013-808
 つながらない場合は053-411-4744へおかけください。
 受付時間:月~金 10:00-17:00
 (土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)



詳細については
 WEBにて

**申込
無料!** ヤマハ管楽器
 安心アフターサポート

※申込期間は、ご購入~1ヶ月以内



詳細はこちら

株式会社ヤマハミュージックジャパン